

2015年2月20日(金) | 18:30~20:30
18:00~開場

明治大学 駿河台キャンパス
リバティタワー 1F 1012教室

概要

中国では今、市民社会の形成を目指して活動する人々があります。その中で重要な役割を果たしているのがNGOです。とりわけ、労働NGOは、官製の労働組合の限界を超え、重要な存在として活躍しています。

中国で頻発する労働紛争の背後には、何があるのでしょうか？中国の労働環境における経営者と労働者、労働組合、そして国や党はどのような関係にあるのでしょうか？

中国の労働NGO研究の第一人者である王侃氏をお招きし、中国の労働問題と市民社会の形成についてお話を伺います。

※労働NGOとは：農村からの出稼ぎ労働者の権利擁護や労働条件改善、未払い賃金問題等の解決のため、法的アドバイスや相談などの活動を行うNGO。

講演者 王侃 (おう・かん、WANG Kan)



中国労働関係学院 講師。中国労働関係学院は、中華全国総工会(中国唯一の労働組合のナショナルセンター)が運営する高等教育機関。ここ数十年の間に出現した中国の労働NGOを研究しており、NGOの現場での活動にも数多く携わっている。

司会 石井 知章(いしい・ともあき)
明治大学商学部 教授

コメンテーター 鈴木 賢(すずき・けん)
北海道大学大学院法学研究科 教授

言語 日本語・中国語(逐次通訳)

参加費：無料(要事前申込み)

参加申込方法：2月18日(水曜日)までに、お名前、ご所属、ご連絡先(Eメールアドレス及び電話番号)を明記の上、Eメール：event_asia_oceania@jpf.go.jp またはFAX：03-5369-6041までお申し込みください。

先着順。お申し込みに対する返信は行っておりません。お申し込みが定員に達した場合にのみ、恐縮ですがお断りのメールをお送りさせていただきます。座席に余裕がある限りは、当日のお申し込みも受け付けます。

中国における労働問題の現在 官製労働組合と労働NGOの動向を中心に

問い合わせ先：

国際交流基金 日本研究・知的交流部 アジア・大洋州チーム TEL:03-5369-6070 (安富、野口)